

まちづくりシンポジウムでの意見集約

会場アンケート調査回収結果

お住まいの地域	調査票回収数	備 考
吉田町	5 6	
八千代町	3 2	
美土里町	2 4	
高宮町	2 2	
甲田町	3 1	
向原町	3 0	
安芸高田市以外	6	
不 明	1 3	
合 計	2 1 4	

問1. 安芸高田市が誕生して 10 年が経過しましたが、合併前と合併後で、あなたの生活や地域活動など、「変わったな」と思われること。

①生活環境分野

- 市民文化センターや葬斎場等大きな施設が整備された。(吉田町 30 代女性)
- お太助ワゴンの運行やお太助フォンの整備等旧町では取り組めなかった事業ができた。(美土里町 50 代男性)
- 車社会で近くのお店がなくなり、高齢者には不便になった。お太助ワゴンも良い事業だがやっぱり不便。決まった日時に決まった場所に来る移動販売車が欲しい。(吉田町 70 以上女性)
- まちが大きくなり行政サービスが隅々まで行き届かなくなった。心の豊かさ、安らぎがなくなっているのではないか。(八千代町 70 以上男性)
- お金がいることが実現化しているのでは？(文化センター、お太助ワゴン、葬斎場、光ファイバー、生涯学習センターみらい)(吉田町 70 以上女性)
- 市内の他のまちの人との交流が増えた。(甲田町 30 代男性ほか)
- パスポートが市役所でとれるようになったので、とても楽になった。(八千代町 10 代男性)
- 支所の職員が少なくなり若干サービスが悪くなった。予算がない。(向原町 70 以上男性ほか)
- お太助フォンにより市の情報がよくわかるようになった。(向原町 40 代女性)
- 税金が高くなった。(吉田町 50 代女性)
- 市民の声を聞く機会を多く設けられ、市政への関心が増えた。情報が比較的早く、内容的にも濃くなり、市政の動向がわかりやすくなった。(甲田町 70 以上男性)
- 通勤が吉田町になり消費などの生活圏が変わった。(八千代町 50 代男性)
- 道路がよくなった。旧商店街がシャッター通りになった。(吉田町 60 代男性)
- いろいろ高くなったと思う。(八千代町 40 代女性)
- 光回線の整備によりインターネットができるようになった。(八千代町 50 代男性ほか)
- 市内の上下水道料金の統一。集会所の地元管理で自助の意識改革。(吉田町 60 代男性)
- お太助ワゴン等の交通システムの整備により、便利になった。交通弱者には大変ありがたい。お太助フォンの整備により情報伝達がよくなった。市の職員の対応がよくなった。(吉田町 60 代男性)
- 便利になった。施設等も新しくなり、便利で快適である。現在のところマイナス面はほとんど感じていない。有名な方の講演会を無料で聞かせていただきエネルギーをもらっている。(甲田町 60 代男性)
- お太助フォンの整備。子どもが減り高齢者が増えた。公共工事が減った。(吉田町 50 代男性)
- お太助フォンの事業はすごかった。(甲田町 60 代男性)

○支所の人数が減った。飲食店が減った。高齢化が進んだ。光ネットが完了した。(50代男性)

②都市整備分野

③安全・安心分野

○市内を走る防災・見守車を止めて来原地区の時報を知らせるサイレンの継続を願う。地元でサイレンだけは残してほしい。(高宮町 60代男性)

④保健・福祉分野

- お太助ワゴンは大変便利。健康教室により健康回復が図られ日常生活に復帰できた人が多くみられる。(高宮町 70以上男性)
- ホールが充実している。他市町の人から各町にホールがあることは、すごいと言われる。乳児医療が中学3年まで延長となったので慢性疾患のある我が家ではとても家計が助かっている。(甲田町 40代女性)

⑤産業分野

- 地域から子どもがいなくなり、年齢も高く人口も減った。農業も中山間地域の補助があり、赤字ではあるが農地を荒らさずに済んでいる。商店もなくなり経済も落ち込んでいる。(向原町 50代男性)
- 若者の働く場がなくなり、人口の減少が進んだ。(甲田町 60代男性)
- 商店街はますます閉店する店舗が増え、駐車場や空き地が目立つようになった。商工会青年部も物販業は少なくサービス業、建設業の方が多いと聞いている。吉田町は人口が多いが、行政区によってばらつきがある。(吉田町 50代男性)
- 飲食店のお客が減った。倒産した店もある。(甲田町 60代男性)

⑥教育・文化分野

- クリスタルアージュ等で、コンサートや演芸など鑑賞できる機会が増えた。(美土里町 50代女性)
- 学校給食がおいしくなった。子ども会がなくなった。(八千代町 30代女性)
- 吉田町ばかりが発展しているように思われる。向原の生涯学習センターみらいもすっかり活用してほしい。(向原町 70以上)
- 少子高齢化の進展。神楽を柱とした地域活性化。図書館や文化ホールが増えた。(吉田町 40代男性)
- 学校統合は、人口減につながるのでは。(八千代町 70以上男性)
- 青少年健全育成の吉田町の発表がなくなった。(吉田町 40代男性)

⑦コミュニティ分野

- 地域振興組織の活動が安定し、民主的になった。(吉田町 50 代男性)
- 地域振興会の活動が少なくなった。(美土里町 50 代男性)
- 人との交流の場が増えた。(八千代町 60 代女性)
- まちづくりや地域活動など他の町から学ぶことも多い。地域振興会の内容にも問題もある面もあるが、しっかり「もやい」のシステムともなっている。(吉田町 60 代女性)
- 地域振興会により、行政区をこえたいろいろな活動ができるようになった。(向原町 50 代男性)
- 地域振興組織の活動が活発になり交流が増えた。本庁に行かなくても支所で用事が済むようになればと思う。(八千代町 70 以上男性)
- 地域での交流が大きく減った。(甲田町 70 以上男性)
- 仕事が忙しくなり、仕事以外のことをする余裕がない。結婚し、子どもが生まれとんどなど地域の行事に少しは参加するようになった。(吉田町 30 代女性)
- 高齢化により地域振興会の役員のみ手がない。(吉田町 50 代男性)
- 地域振興組織の活動が盛んになり、地域振興に役立っている。日曜日の行事が増え、一部不満を述べる若者もいる。(吉田町 70 以上男性)
- 振興会の役員になり様々な活動に参加し、いろんな人と交流ができるようになり楽しい。(八千代町 60 代女性)
- 笑い顔はあるけれど、隣との付き合いが少し悪くなった。(向原町 60 代男性)
- 各地域の活動が変わっていない。各地域の個性がなくなりつつある。(高宮町 50 代男性)
- 地域住民の不平不満が増えた。(日本全体がそうなので当然か。)地域の役員が代わらず高齢化している。光回線が使えるようになった。(吉田町 40 代男性)
- 振興会を中心としたまちづくりがなくなったような気がする。(高宮町 30 代男性)
- 合併を契機にというわけではないが、いわゆる常会(講中:地域のつながりの最小の単位)のつながりや絆が希薄になっていると感じた。(甲田町 50 代男性)
- 何事も自分たちでできることは行政に頼らずに頑張っていこうという気持ちが生まれてきた。(甲田町 60 代女性)
- 人との交流が、広範囲になったような気がする。(吉田町 60 代女性)
- 高田郡の時より各町の結束が強くなった。(高宮町 50 代男性)
- 地域振興会活動が活発になった。(美土里町 50 代男性)
- 振興会が活発になった。神楽など市の特色が打ち出されている。(吉田町 40 代男性)
- 地元地域が団結した。役所が遠い存在になった。ボランティア活動が増した。(甲田町 70 以上男性)
- 地域活動は定着してきたと思う。(甲田町 60 代男性)

○市内各町の交流が増え情報が多く入るようになった。(吉田町 40 代女性)

⑧その他

○吉田以外のまちはさびれた。不便になったことの方が多い。(甲田町 50 代女性)

○変化が見られない。(甲田町 60 代女性)

○吉田町は元気そうだけど、他のまちは静かで死んでいるよう。(甲田町 70 以上女性)

○行政のきめ細かさがなくなった。合併前の駆け込み事業のつけが来ている。旧町の良さを市全体の良さとしてアピールできている。(甲田町 50 代男性)

○補助金が減った。(吉田町 40 代男性)

○みんな年をとった。(高宮町 60 代男性)

○低迷している。(高宮町 60 代男性)

○町から見ると精神的に心が広がったような気がする。行政が行き届かなくなった気がするが、自助・共助・公助を考えて行けば何とかかなると思う。(八千代町 70 以上男性)

○高齢者の 1 人暮らしが多かったが、死亡し戸数が減った。(甲田町 70 以上女性)

○今日のまちづくりシンポジウムは大変良かった。話も理解できた。(吉田町 70 以上女性)

○箱物はできたが繁栄していない。イベントばかり増え、商店街はさびれ、人口は減少し、神楽ばかり。1 町分の人口が減少している。10 年後はもっと衰退する気がする。(吉田町 40 代男性)

○合併前の方がゆとりがあり、楽しい行政運営であったと思う。(吉田町 50 代男性)

○中心から遠くにいると感じることがたびたびある。(高宮町 60 代女性)

○ちょっと田舎のわずらわしさに疲れた。(向原町 60 代男性)

○地域の老人が増え交流がなくなった。子どもが少なくなり明るさが減った。(八千代町 50 代)

○市になり少しは良くなったと思う。(吉田町 50 代女性)

○各種行事が市の中央(吉田町)で開催されることが多く、高齢者が参加しにくくなっている。市民が平等に恩恵を受けられれば良いと思う。(向原町 70 以上女性)

○夜叉うどんが好きです。福岡県の知人もファンになりました。(吉田町 30 代女性)

○良くなったかと言われると、それはないと思う。六町を公平にすることは無理。(八千代町 60 代女性)

○良くはなつたと思う。(高宮町 70 以上男性)

○別に動けるので変わったとは思わない。(美土里町 60 代男性)

○地域の過疎化が進んだ。支所がさびしくなった。(甲田町 50 代男性)

○定年退職し今年四月に妻の実家に帰郷した。変化はよくわからないが、公共施設が新しく、良くなったような気がする。(美土里町 60 代男性)

- 合併して、過疎化が大変進んでいる。(美土里町 60 代男性)
- 市の一体感（アイデンティティ）が大きくなった。(吉田町 50 代男性)
- 過疎化が進んだ。旧町間の人々の仲が悪くなった。ボランティア団体がスタイリッシュになった気がするが、目立たなくなり、市民や行政と疎縁になった。(高宮町 40 代男性)
- ハード面の充実。(美土里町 50 代男性)
- 地域全体が衰退している。若者が働ける場所がない。中山間地域の実情がわかっていない。職員に改善しようとする意識がない。(甲田町 60 代男性)
- 旧町単位のことでもまだ残っているが、最近、安芸高田市としてのイベント等が増えてきた。(吉田町 40 代女性)
- 住民にとって行政が遠い存在になった。合併して仲間が増えた気がする。(美土里町 50 代男性)
- 他市町との交流がない。発展するのは中心部ばかり。(70 以上女性)
- 市外在住のため変化は分からないが、仕事を通じて産業面でも暮らしの面でも活性化させようとする市民の意識を強く感じる。(市外 50 代男性)
- 他の町へ行くことが増えた。(甲田町 40 代男性)
- 人口が減った。近所に空き家が増えた。(美土里町 40 代男性)
- 行政と住民の一体性、結びつきがなくなっている。個人の主張が以前より大きくなっている。義務の責任感がなくなった。広範囲の人事交流が多くなった。(美土里町 70 以上男性)
- 役場が支所になったが、何でも相談しやすく、職員の態度も良くなった。(甲田町 60 代男性)
- 隣町に行く距離感が近くなった。(吉田町 60 代男性)
- 周辺地域は不便になっていると思うが、自立も進んでいる。(市外 40 代男性)
- 吉田町以外の地域はさびれている。地域活性化策が必要。(甲田町 70 以上男性)
- 旧町同士を比べる声が減った。(向原町 30 代女性)
- いろいろな機能が、吉田に集中し、周辺部はさみしくなっている。住みにくくなった。外国人が増えた。(八千代町 60 代男性)
- コンビニが増えた。サンフレ優勝。(吉田町 40 代男性)
- 職員が事務屋になっている。行政マンはセールスマンであってほしい。(70 以上男性)

問2. これからの安芸高田市を「元気にするアイデア」があればご記入ください。

①生活環境分野

- 市内で広島市に一番近い八千代町を若者定住の拠点とし、低価格の定住住宅を整備する。農業従事者も高齢化が進んでいるので対策を。(八千代町 70 以上男性)
- 交通の利便性の向上。田舎の良さをアピール。子育てしやすいまちづくり。(吉田町)

20代女性)

○国道54号線を中心に道路拡張等道路網の整備をする。(吉田町20代男性)

②都市整備分野

○広島市内への移動のスピード化。地域の核づくり。中心部に魅力を集中する。(学校、病院、図書館、お店等)(八千代町70以上男性)

○市全体を公平にサービスするのではなく、メリハリをつけた行政を望む。魅力(病院やスーパー等)を集中させ、辺地や限界集落の住民をそこへ移住させる。(八千代町50代)

○中心部を充実させる。(甲田町60代男性)

○病院やスーパーが増えればよい。お太助ワゴンの増便。(八千代町60代女性)

○ミニカジノの建設。郡山城の曲輪の整備。山林を利用した循環型社会の構築。スマートシティの構築。(吉田町50代男性)

③安全・安心分野

④保健・福祉分野

○子育て支援に力を入れる。(甲田町60代女性)

○介護等への外国人の就業。神楽甲子園の充実。(吉田町60代男性)

○高齢者の趣味等の作品展示の場が欲しい。高齢者の生きがいづくり。(向原町40代女性)

○子育て支援。神楽だけでなく、サンフレの練習拠点があることをもっとPRする。(吉田町40代男性)

○高齢者に優しいまちづくり。歩きやすい歩道や駅へのエレベーター設置等のバリアフリー化。(向原町60代女性)

⑤産業分野

○店の少ないところにコンビニ。移動販売自動車の定期販売。小学校の統廃合をしない。(吉田町70以上女性)

○山、森林、農業、人を活かす。(高宮町60代男性)

○今日のシンポジウムの中にたくさんアイデアがあったと思う。夜間のお太助ワゴンの運行により飲食店が元気になるのでは。吉田の商店街を再生してほしい。(美土里町50代男性)

○郡山城の復元。宿泊施設を造る。(古民家の活用、農家レストラン)特産品、お土産物の開発。空き家の活用。廃校を高齢者施設に。(吉田町50代女性)

○農業体験による集客。神楽を中心に外国人の誘客。自然体験型老人定住住宅の整備。

- ログハウス等の住宅分譲。高速バス停へのアクセス改善。(美土里町 50 代女性)
- 駅、停留所近くの休憩場の設置。(食堂や喫茶店)(甲田町 70 以上男性)
- 豊かな山林を活用できるような林業の活性化。(市外 30 代男性)
- 働く場の確保や子育て支援等都会に出た若者が帰って来るような施策を。(向原町 70 代)
- 夜叉うどんに続く新たなグルメづくり。(吉田町 30 代女性)
- 市内で全ての買い物ができればよい。若者が集まる施設の整備。(フットサル場など)(吉田町 50 代男性)
- 働く場の確保。子どもたちがのびのび遊んだり、活動できるテーマパークづくり。(向原町 50 代)
- 観光は毛利(郡山)を中心としてほしい。イノシシやシカを郷に出さないよう周辺の山林整備を、市内一致協力し実施する。(高宮町 70 以上男性)
- 商業施設を増やす。(八千代町 20 代男性)
- 民泊受入。(吉田町 40 代男性)
- 神楽を中心とした観光事業を推進してほしい。(甲田町 60 代男性)
- 市民や市内企業が一体感を醸成するために共通目的を産むような活動があればよい。例えば、地域の特産品の企画、特徴的行事の開催など。市民、企業が全員参加可能なもの。(市外 50 代男性)
- 市内を周遊する観光イベントの開催。(甲田町 40 代男性)
- 各町に道の駅を整備する。ニュージーランド村のようなレジャー施設を整備する。(高宮町 40 代男性)
- 地産地消の推進。地元食材を使ったバイキングレストラン。(向原町 40 代女性)
- 間伐材の利用。温泉施設や工場など重油ボイラーから薪ボイラーに替え、エネルギーの地産地消を目指す。(市外 40 代男性)
- 山林の所有者を明確にする地籍調査をし、山林で太陽光発電をするなどの土地の有効活用に努める。(甲田町 70 以上男性)

⑥教育・文化分野

- 世界中から認められるようなオリジナルなイベントの開催。夏休み等長期休暇に子ども体験教室等を開催する。(子どもが安心して過ごせる街づくり)(甲田町 50 代男性)
- 神楽やサンフレなどの市が誇れるスポーツや文化のメディアによる情報発信。市の携帯・スマホの専用ページの充実。(八千代町 10 代男性)
- 学校教育の充実。働く場の確保。(高宮町 40 代女性)
- 有名タレント等の講演会を低料金で開催。市全体でのイベントを開催し、近隣市町からの集客を図る。(甲田町 60 代男性)
- 世界規模のトップスポーツ選手の育成システムの構築により、子どもや指導者が定住

- する。(吉田町 50 代男性)
- 環境美化。学校の耐震化を。(甲田町 60 代男性)
- 神楽での活性化。(美土里町 60 代男性)
- 神楽と毛利元就とをマッチングさせて郡山に拠点を設け、中国地方や大阪方面へアピールしていく。(高宮町 50 代男性)
- スポーツを中心としたまちづくりを推進する。(サンフレ、レオリック) (美土里町 50 代男性)
- 学校教育の充実。(高宮町 40 代男性)
- 地域ガイドの育成 (甲田町 60 代男性)
- 安芸高田市にしかないものを大切に。例えば甲立古墳。是非「国指定」の実現を。(吉田町 40 代女性)
- 子どもたちが主役になれるイベント。(美土里町 40 代男性)
- 市職員の教育訓練の強化。学校統廃合の推進。(美土里町 70 以上男性)

⑦コミュニティ分野

- 他地域との交流イベント。外国人のイベント。多様な価値観の分析。(吉田町 40 代男性)
- 地域振興組織への活動費の支給と、活動効果の高い振興会への支援金の支給。(一律の額を与えての消的な支出はすべきでない。)(吉田町 60 代女性)
- 市の花木である紫陽花と桜を市全体に植え、花のまちを創造する。挨拶の町にする。誰と会っても挨拶ができる町。(八千代町 70 以上男性)
- 空き施設の活用。豊かな自然の利用。地域の理解。市外部の人間の意見を聴く。(八千代町 60 代男性)
- 若い世代への世代交代を急ぐか、もしくは若い世代をあきらめ老人に優しい街づくりを目指す。(吉田町 40 代男性)
- 世代間がいびつな構成になっているので、「多世代共生文化」なる言葉を考えてみた。(向原町 60 代男性)
- 「みんなが笑顔」を市民全員に徹底する。(向原町 70 代女性)
- 外国人の方を含め、市外からの定住者からの意見を聞く。(吉田町 50 代男性)
- 更なる地域振興活動の充実により、各地域間の連携が強化され活力が生まれる。市はその支援策を充実させる。(高宮町 50 代男性)
- もう一度、地域振興会を中心とした地域づくり、人づくりを目指す。(高宮町 30 代男性)
- 市外の人に参加してもらいイベントを開催し、交流を深める。(美土里町 60 代男性)
- 学校の統廃合後の校舎の利活用は、住民の声を聞いて。(吉田町 60 代女性)
- 地域振興会の充実。地域常会のしきたりの廃止。行政嘱託員制度の見直し。(甲田町

70 以上男性)

⑧その他

- 職員意識改革（八千代町 60 代女性）
- 自分たちで考えて行動する。（甲田町 50 代女性）
- 吉田町以外の町でも元気が出る取組みやイベントを開催する。（甲田町 70 以上女性）
- 心の豊かさを育むまちづくり。（甲田町 60 代男性）
- 各種団体へ仕事を下ろさず、市の専門職を増やす。市民は専門家ではない。（向原町 70 以上男性）
- 女性パワーの活用。（甲田町 70 以上女性）
- 最後の歌に集約されている。（高宮町 60 代女性）
- 交流施設（公園等）の整備。地域イベントへの補助金等の助成。ホームページの充実。農業体験の実施。（八千代町 30 代女性）
- 過去の大河ドラマ「毛利元就」を思い出し、何か考えられないか。（吉田町 60 代男性）
- 広島市と比べ住みやすいし優遇されている。その辺をもっとアピールしてほしい。他の市町を知らないのに安芸高田市を悪く言う人が多い。（八千代町 40 代女性）
- 安芸高田らしさをもっと表現してほしい。（吉田町 50 代女性）
- 宝を継承するシステム。若者を引き留めるシステム。地域の行事もほどほどに。好きなことができるのは素晴らしい。（向原町 50 代男性）
- 自助・共助の具体的役割分担を政策に反映させる。意識改革への長期的指針を設定する。（甲田町 70 以上男性）
- お父さん、お母さんも早く家に帰り家族団らんの時間が持てるようにする。家族の絆を強くすることが、地元を愛することにつながる。都会からの農業体験の受入。婚活カップルにクリスタルアーチョで格安で結婚式を挙げてもらう。（吉田町 30 代女性）
- 地域の市の職員を中心に、地域ごとの中長期ビジョンを作成する。（吉田町 60 代男性）
- 人を大切にすること。（美土里町 50 代男性）
- 自助・共助のために公助がいかに機能するか。（甲田町 50 代男性）
- 休耕地の利活用。（吉田町 70 以上男性）
- 市のプロモーションビデオを作成し、都会へ売り込む。キャッチフレーズ、イメージソングの作成。（甲田町 50 代男性）
- 「どぶろく特区」があるので、酒と神楽をセットで、つまみはジビエ。土師ダムで遊んで帰っていただく。（50 代男性）
- 娯楽施設を増やす。（吉田町 20 代男性）
- 藻谷浩介を講師に呼んでほしい。（八千代町 60 代男性）
- 人口減にならない方策を。（甲田町 60 代男性）
- 市役所支所の充実。（八千代町 70 以上男性）

- 笑顔が一番大事。(美土里町 50 代男性)
- 若い人に多く参加してもらえるまちづくりを。(八千代町 70 以上男性)
- 歌が素晴らしかった。みんなが笑顔になるまちづくりを。(吉田町 70 以上女性)
- 全市を挙げて外国人も含めて楽しめるようなイベントの開催。(美土里町 50 代男性)
- 市職員と住民の意見交換ができる場づくり。(70 以上女性)
- 転入者に対し 10 年以上住めば土地を提供する。あるいは、10 年間税金を免除するなどの施策を行う。(甲田町 60 代男性)
- 今日のシンポジウムの内容を住民が実行すればよいまちになる。(吉田町 70 以上男性)